

平成 29 年度

学生によるオレンジリボン運動

横浜保育福祉専門学校 実施報告書



実施主体 ゼミナール「子どもを守る」(安藤ゼミナール)

実施内容 平成 29 年 10 月 28,29 日の学園祭、11 月 12 日のオレンジリボンたすきリレー、11 月 25 日の親子ふれあいフェスタにて啓発活動。

①事前に取り組んだ内容

今年も大阪乳幼児置き去り死事件について文献や映画をみて考察する。チャイルドファーストジャパンや子どもの虹情報研修センターでお話を伺うなど学習しました。特に今年は「子どもの貧困」が児童虐待につながる事が多いとのみたてから、子どもの貧困について支援している「フードバンクかわさき」「川崎市ふれあい館」「キーパーソン 21」のフィールドワークを行いました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・学園祭、親子ふれあいフェスタでは、学生が作成した子ども虐待防止や子どもの貧困支援に関する説明を書いたポスターを作成し展示しました。たくさんの人にみてもらうため、子ども向け遊びコーナー(紙の魚釣り)を用意し、子どもが遊んでいる間にポスターを見てもらえるように工夫しました。なお(紙の)魚が釣れたら学園祭ではお菓子、フェスタではオレンジ色のバルーンアートをプレゼントや、来場者にはオレンジリボンと啓発マスクの頒布を行いました。
- ・11 月中、岩崎学園の全 7 つの学校にポスターを掲示していただきました。また、東戸塚放課後児童クラブにて啓発マスクの頒布を行いました。
- ・たすきリレーでは、実行委員としてイベントの運営を手伝いました。また本校学生に呼びかけたところ、ゼミ生以外に 16 名がボランティアとしてイベントに参加しました。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

- ・本校では安藤ゼミと言えばオレンジリボン運動との認識が広まり、他の学生から手伝いたいとの申し出が多く、各啓発活動と一緒に虐待防止の啓発活動を行うことができました。
- ・児童虐待と子どもの貧困のつながりに学生が気付くなど、多くの学びにつながりました。2 月に卒業研究発表会にて保育士の卵である全校生徒に伝える機会もあり、楽しみです。
- ・今年で 3 年目の活動となりますが、本校を卒業して保育園や児童養護施設で働いている OB、OG が啓発ブースやイベントに遊びに来てくれました。中には、活動を手伝ってくれる者もいました。オレンジリボン運動の意義が学生に伝わっている実感があります。ぜひ、来年度以降も活動を続けたいと思います。



【横浜保育福祉専門学校】 <http://hoiku.iwasaki.ac.jp>